

県営住宅（城西団地）3号棟屋内配管その他設備改修工事

図 面 表			
記 号	種 別	名 称	縮 尺
M - 1	給水設備	機械設備改修工事特記仕様書（1）	
M - 2	給水設備	機械設備改修工事特記仕様書（2）	
M - 3	給水設備	機械設備特記仕様書（補足）	
M - 4	給水設備	案内図・配置図・改修概要	1/600
M - 5	給水設備	系 統 図	
M - 6	給水設備	18戸建1～3階平面図	1/100
M - 7	給水設備	平面詳細図（現状）	1/30
M - 8	給水設備	平面詳細図（改修後）	1/30
M - 9	給水設備	仮設給水図・床下平面図	1/100

青森県中南県土整備事務所
吉川設備設計事務所

給湯設備

●配管材料

膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。
既設 ●炭素鋼管 ○耐熱性塩ビパイピング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304)
○
改設 ○耐熱性塩ビパイピング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304)
●炭素鋼管 ○
給水設備の当該事項による。
厚さ0.3mm以上のステンレス鋼板製とする。
湯沸器の給排水管 (二重管) の隔べり部保護を行う。
(保護の種別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 h・(イ)・Kとする)
イ) 呼び径60SU以下 SAS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合
ロ) 呼び径75SU以上 ○溶接接合 ○ハウジング形管継手による接合 ○フランジ接合

消火設備

●配管材料

イ) 一般
既設 ○配管用炭素鋼管 (白)
○低力配管用炭素鋼管 (Soh40)
改設 ○配管用炭素鋼管 (白)
○低力配管用炭素鋼管 (Soh40)
ロ) 地中埋設部
既設 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS)
改設 ○外面被覆鋼管 (STPG-370VS)
○外面被覆鋼管 (SGP-VS)
○外面被覆鋼管 (STPG-370VS)
○10K
イ) 充水タンクの保護 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要
なお、充水タンクの保護は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 鋼板製タンクの項による。
ロ) 消火配管の保護 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要
なお、消火配管の保護は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。
ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。

ガス設備

●配管材料

イ) 一般
既設 ●配管用炭素鋼管 (白)
○ガス事業者の規定による
改設 ●配管用炭素鋼管 (白)
○ガス事業者の規定による
ロ) 地中埋設部
既設 ○配管用炭素鋼管 (白)
○ガス事業者の規定による
○ガス用ポリエチレン管
○ガス事業者の規定による
●既メーター
○子メーター
○ガスボンベ
○実測式 ○バルブ式 ○貸与品
○実測式 ○バルブ式 ○買取り
貸与品 (Q50kg 本)
イ) 集合装置 ○標準図施工72による
ロ) 転倒防止等 ○標準図施工73 (○(a) ○(b))
○有 ○無
○ガス漏れ警報器
○工事 (図示の箇所に取付け) (○分岐形 ○一体形) ○別工事
外部出力端子 (○有 ○無)
イ) 一般敷地内 (0.0m以上) 敷地内車道道路 (0.0m以上)

雨水利用設備

○システム構成その他

別図による。
イ) 一般配管 既設○ 改設○
ロ) 集水管 既設○ 改設○
○直統式 ○バルブ式
○図面に特記なき場合は、JIS又はJVSとする。

厨房機器設備

○調理機器の熱源

既設 ○ガ ス ○電 気
改設 ○ガ ス ○電 気
イ) 仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。
ロ) 厨房機器据付け要領は、標準図施工74による。

浄化槽設備

○処理能力

対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上
汚水量 m3/日 BOD濃度 mg/L
○小規模合併処理 (告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大匠認定)
○合併処理 (告示区分第2、第3、第5の処理方式)
○ユニット形 (FRP製) ○現場施工形
設置スペース 約 L x W
相 x V x kW
イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎に固定する。
ロ) 送風機にはケーブル (ビニルキャブタイヤケーブル) を約 m付属する。
ハ) 送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。
イ) 流入管底 設計GL - m
ロ) 浄化槽本体への自然流下方式 (必要な場合はポンプアップ方式とする)
イ) 浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GL - m
ロ) 浄化槽本体よりの自然放流方式 (必要な場合はポンプアップ方式とする。)
構造上不要な場合は設けない。
流入用並びに放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時運転とする。
○製造者標準品 ○標準仕様書による。
(○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。)
○製造者標準品安全荷重 (○5 ○15 ○50KN以上とする。)
○標準図 (機材1) (OMHB OMHA OMHD)
耐荷重はマンホール安全荷重による。
イ) 基礎杭 ○要 (○本工事○別途) ○不要
ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事○別途) ○不要
ハ) 根切り ○本工事 ○別途
ニ) 埋戻し ○本工事 ○別途
ホ) 躯体 (現場施工形の場合) ○本工事 ○別途
ヘ) 山止め ○要 (○本工事○別途) ○不要
ト) 水替え (自然水位GL - m) ○要 (○本工事○別途) ○不要
チ) 残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し
30日分を納入する。
一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。
合成樹脂製パネル (厚さ5mm以上、文字は彫り込み) を取り付ける。
ノズル式又は清泡剤式とする。

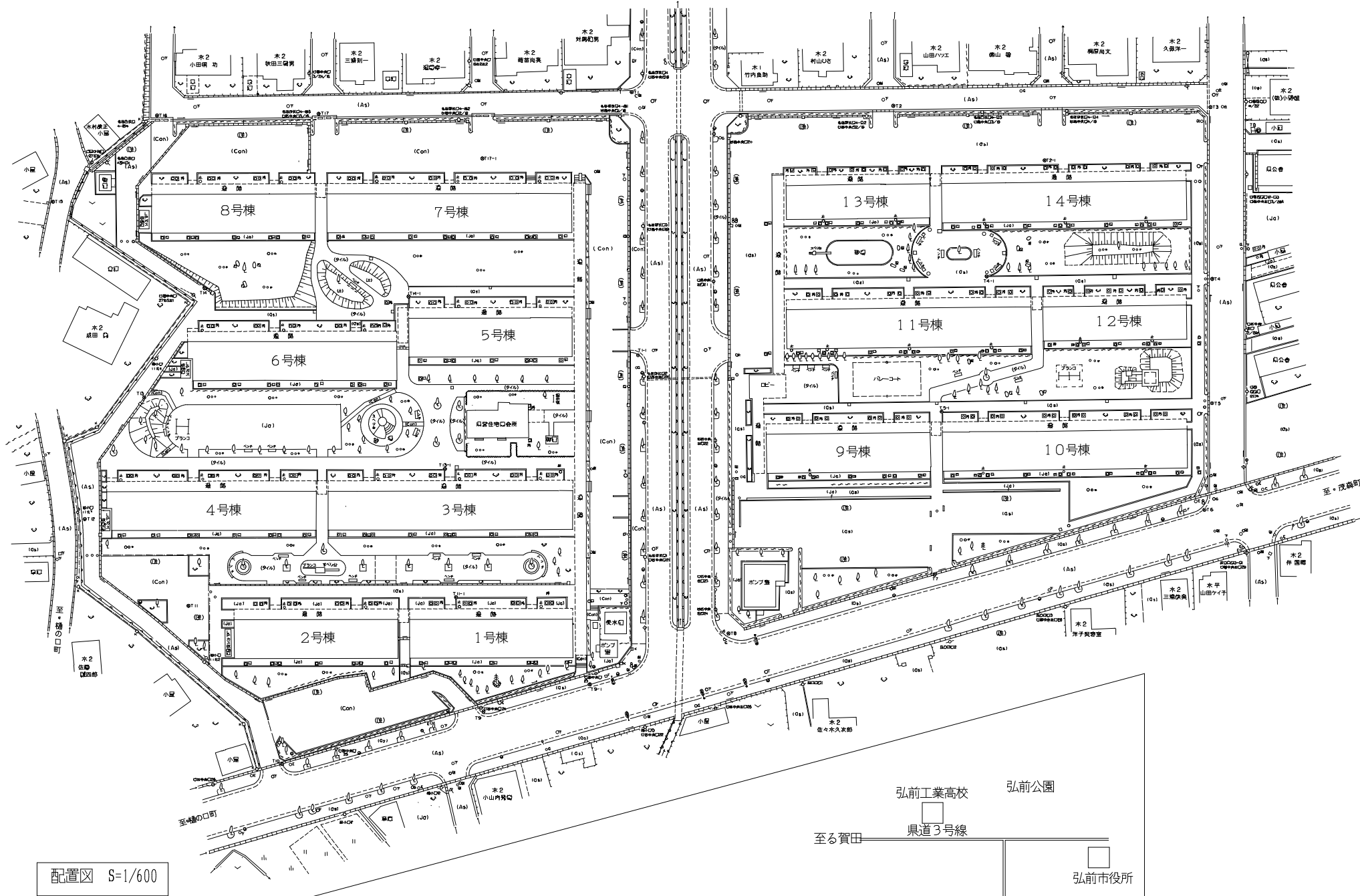
施工要領

○アスベスト含有製品取除
○ 本工事
ダクトフランジバックシン及び配管エルボ部保護材の処理方法は、以下による。
撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するためフランジ・エルボ・チーズの前を切断し、他のダクト・配管とは別に搬出を行う。
※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。
アスベスト含有部材を撤去・取り外しを実施する場合の施工要領 (参考)
ダクトフランジ部取除要領
約100 約100
1. ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。
配管エルボ・チーズ取除要領
100 8 100 100
1. 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保護材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保護材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保護付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。
石綿含有設備資材撤去リスト
種 類 寸 法 箇 所 備 考 (ダクト板厚)
ダクトフランジ部 200×150 4 (0.6)
250×100 4 (0.6)
300×150 4 (0.6)
400×150 2 (0.6)
500×150 10 (0.6)
700×300 8 (0.6)
300×150 21 (0.6)
550×250 6 (0.6)
配管フランジ部 80A 2
100A 2
150A 2
※ ダクトフランジ部の撤去に先立ち、フランジ部1箇所につき2箇所切断する。

工事内容

1. 城西団地-1
(1) 衛生器具設備
(2) 給水設備
(3) 排水設備
(4) 給湯設備
(5) ガス設備
(6) 撤去工事
(7) 仮設給水設備

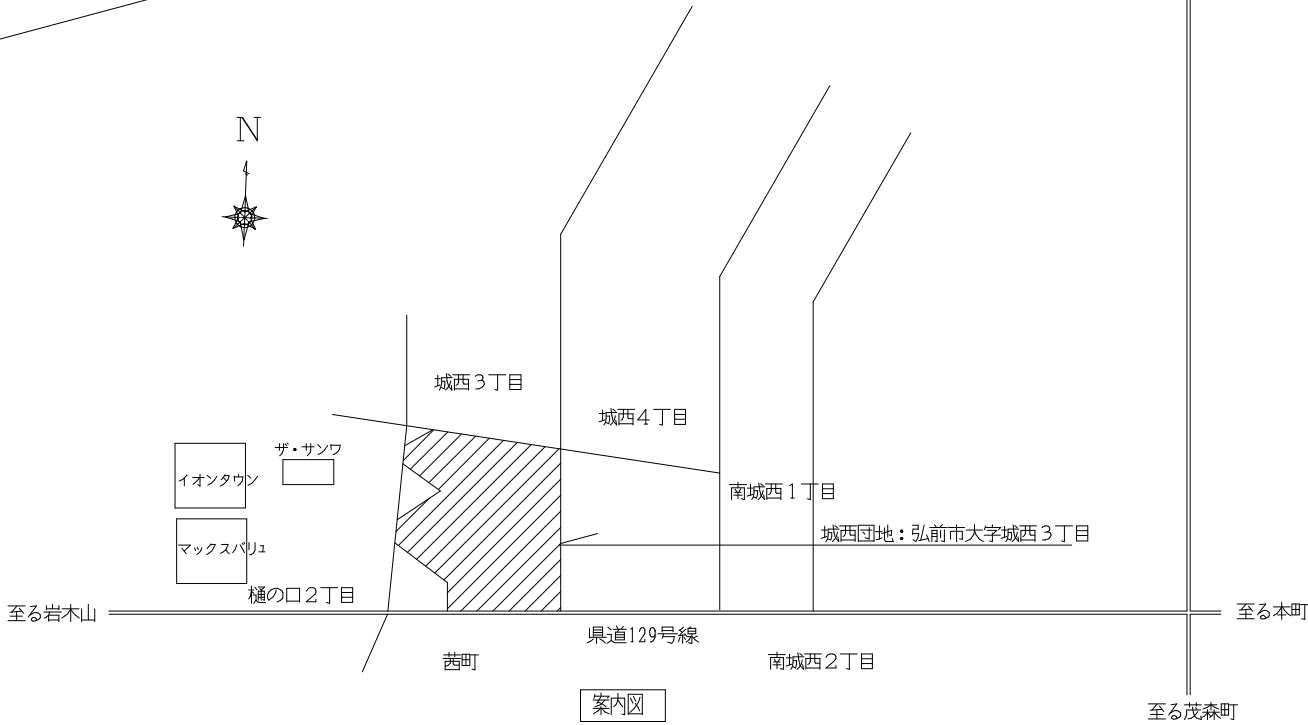
[illegible]

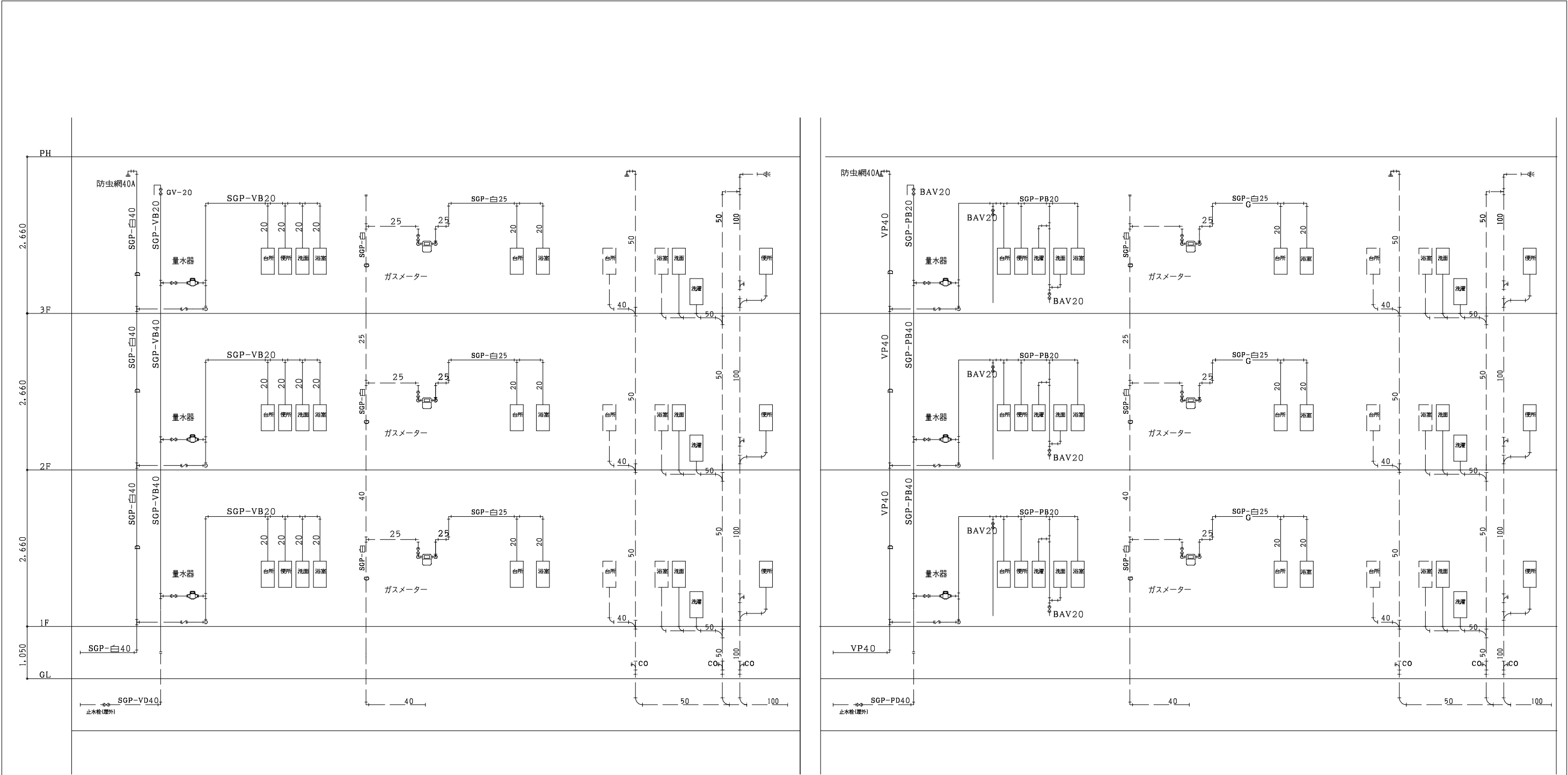


- 改修概要
- 衛生器具設備
便器、洗面化粧台、水栓類は取替える。
 - 給水設備
屋外制水弁より、仮設給水工事を行い給水管を改修する。
住戸内は露出配管とし、既設隠ぺい配管は残置とする。
 - 排水設備
PS内ドレン排水立管を改修する。
洗濯機排水器具を取替える。
 - 給湯設備
ガス給湯器は再利用とし、以降給湯配管工事を改修する。
住戸内は露出配管とし、既設隠ぺい配管は残置とする。
 - ガス設備
住戸内ガス配管を改修する。
住戸内は露出配管とし、既設隠ぺい配管は残置とする。
 - その他
本工事は住戸を使用しながらの改修工事であることから安全管理に配慮する。
住戸内の設備はその日の作業終了時から次回作業開始時まで使用できる状態にし工事を進めていくこと。

西城団地 1～8号棟

今回工事	棟番号	住戸タイプ	階数	戸数	階段室	住戸面積	延床面積
	1	3LDK	3	12	2	65.6	1,062.33
	2	3LDK	3	12	2	65.6	1,062.33
○	3	3LDK	3	18	3	65.6	1,593.5
	4	3LDK	3	15	2	65.6	1,350.16
	5	3LDK	3	12	2	65.6	1,062.33
	6	3LDK	3	15	2	65.6	1,350.16
	7	3LDK	3	18	3	65.6	1,593.5
	8	3LDK	3	12	2	65.6	1,062.33



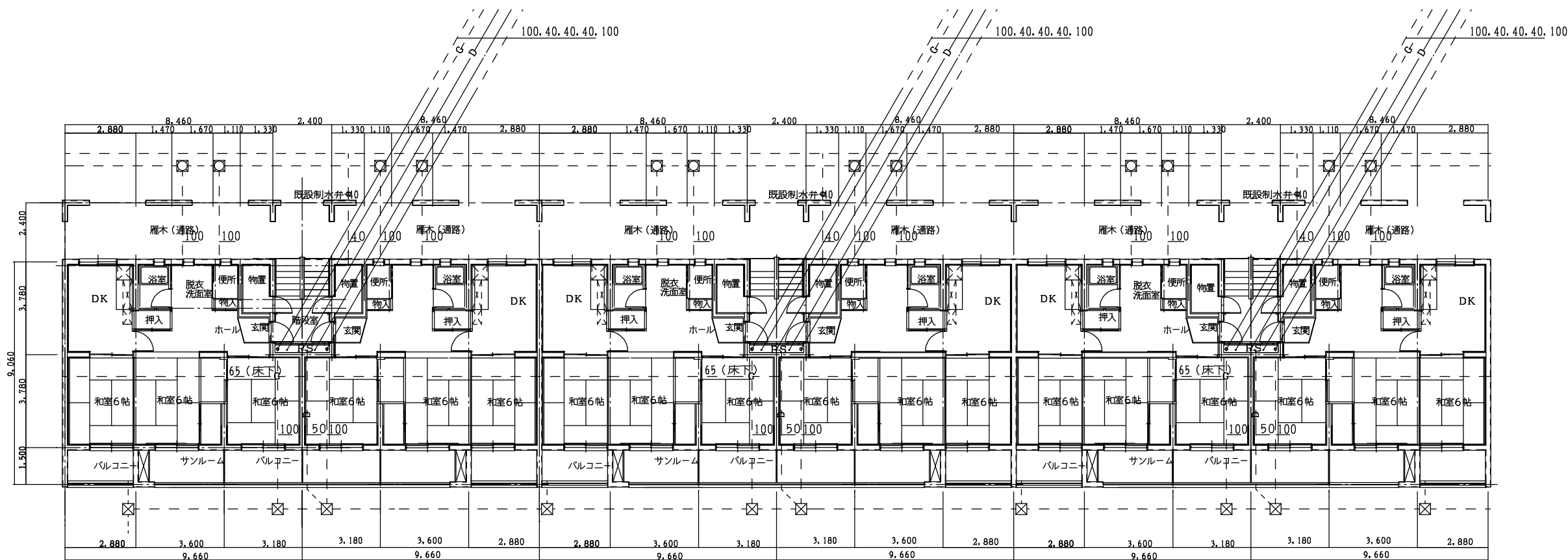


給水・ガス・排水設備系統図 [改修前]

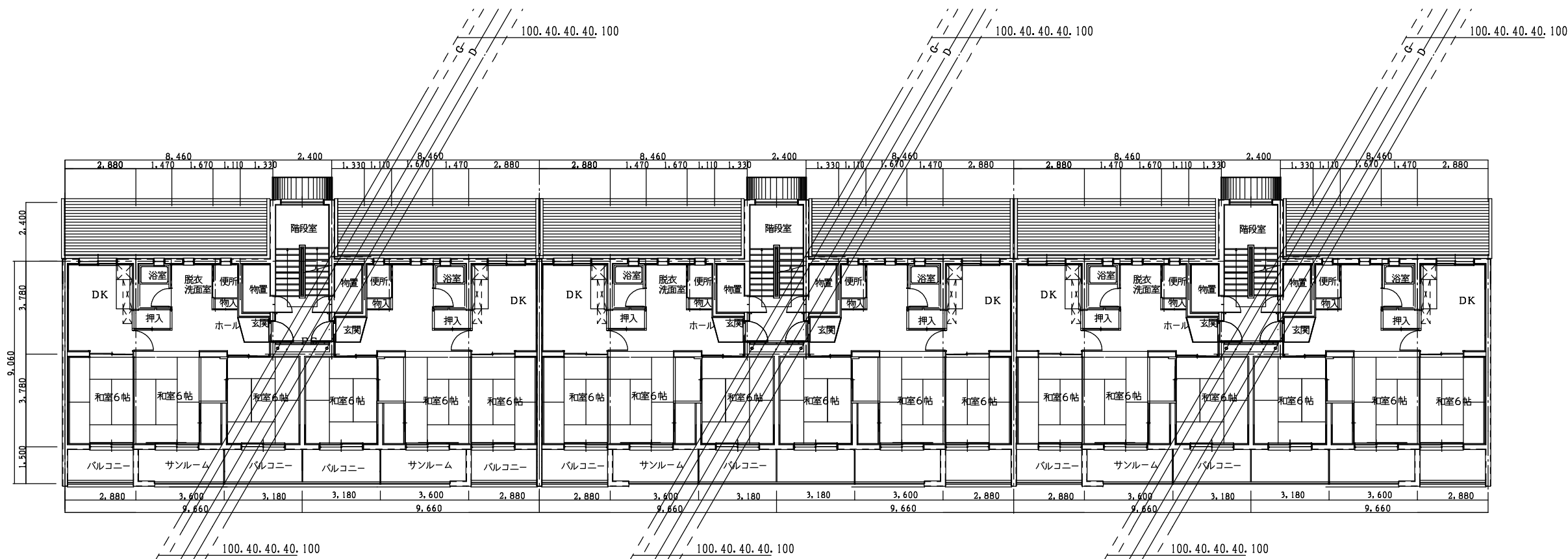
実線は配管・器具・弁類撤去
破線は配管・器具・弁類既存のまま

給水・ガス・排水設備系統図 [改修後]

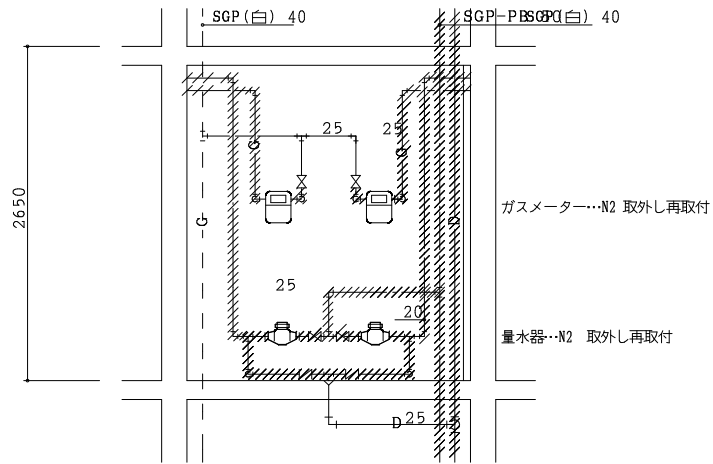
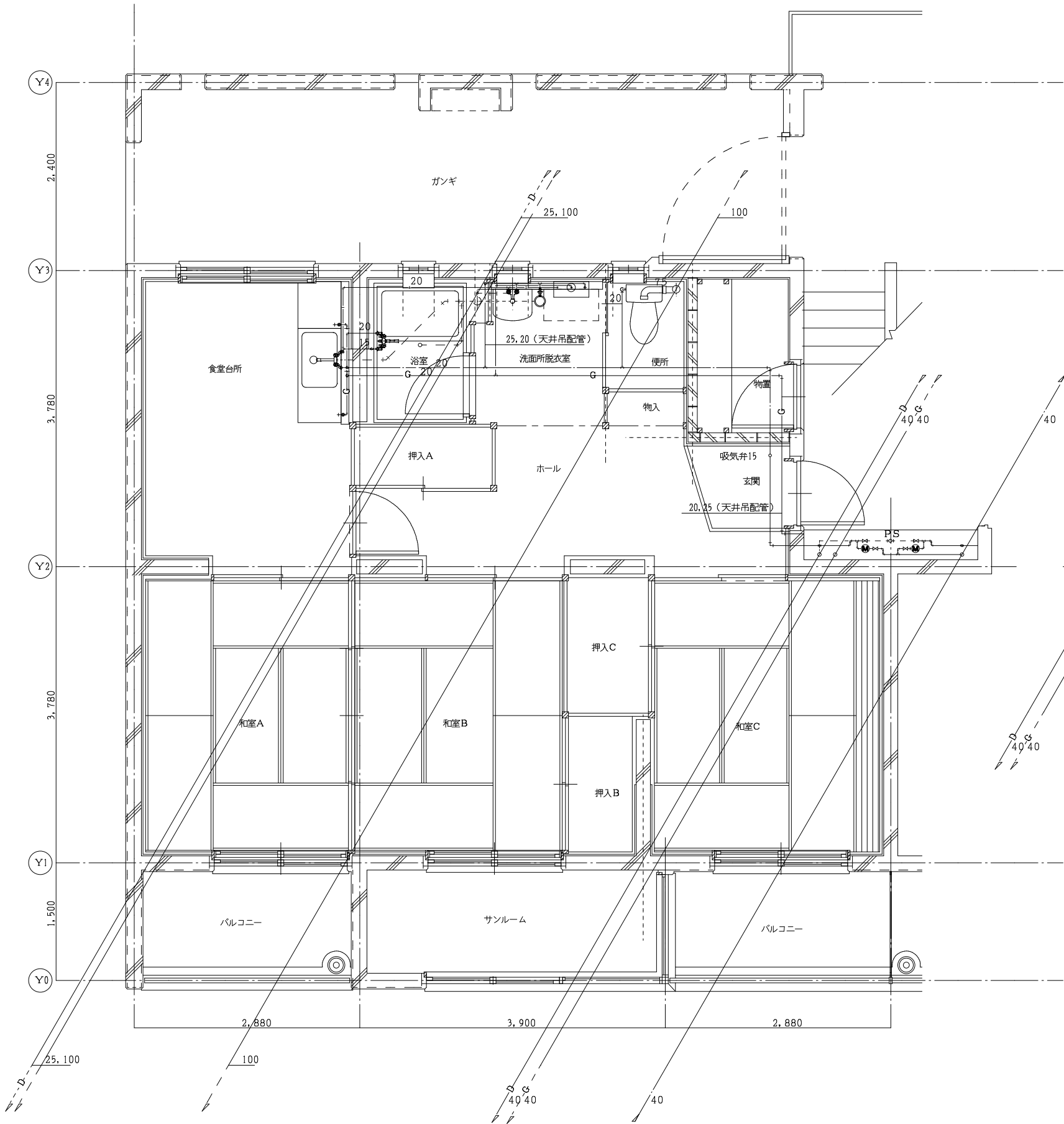
実線は配管・器具・弁類新設
破線は配管・器具・弁類既存のまま



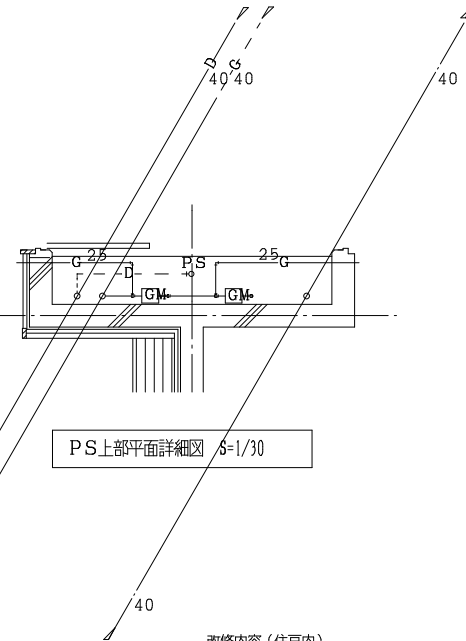
1階平面図 S=1/100



2～4階平面図 S=1/100



PS詳細図[改修前] S=1/30 ※斜線部分は撤去を表し。

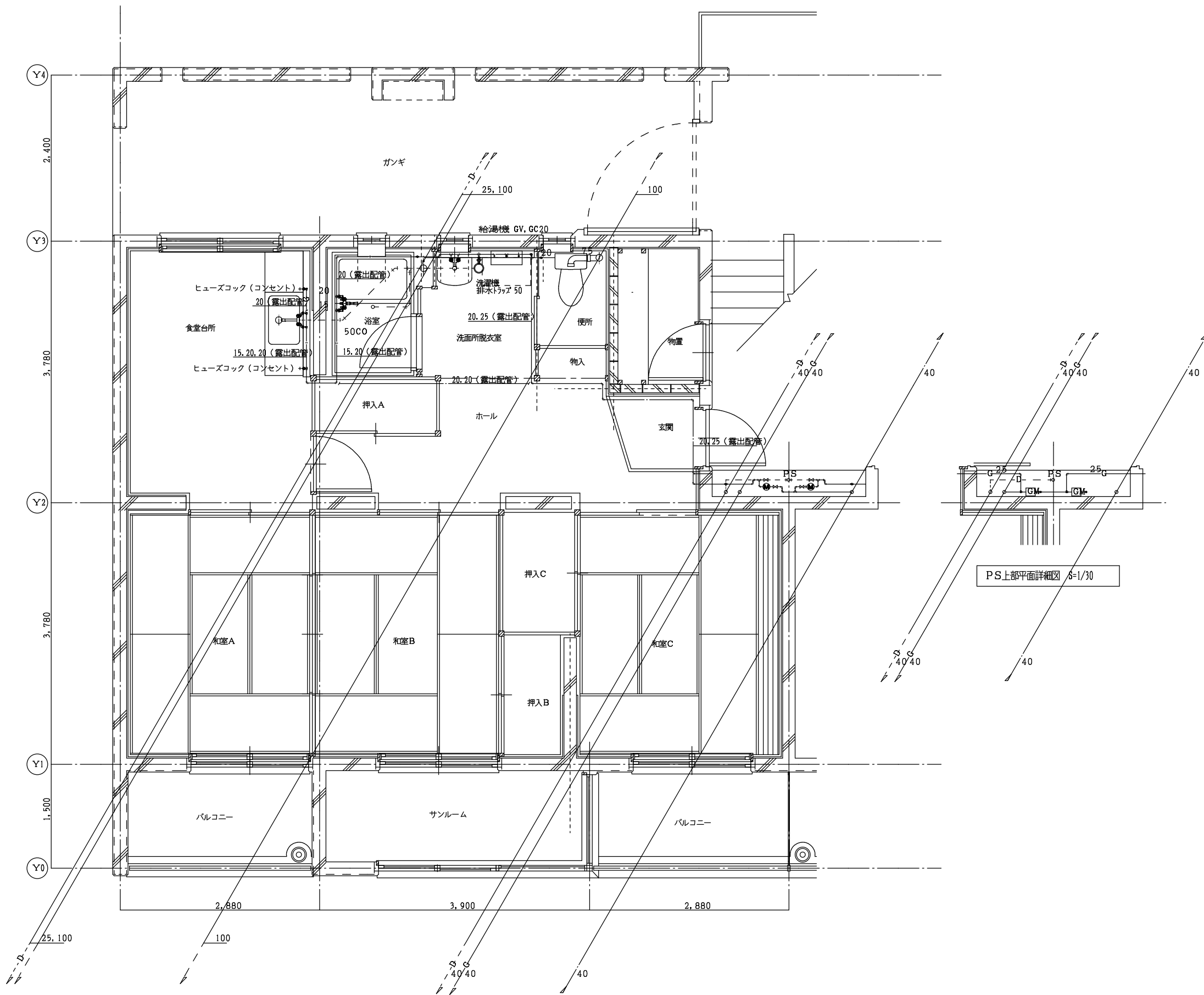


PS上部平面詳細図 S=1/30

改修内容（住戸内）				
場所	改修内容	改修前	改修後	備考 参考型式
便所	腰掛便器取替	防露式ロータンク手洗付	R1201R 防露式	TOTO CS670BP SS671BNCL TCF116
		普通便座共	暖房便座共	Y9201
洗面所	洗面化粧台取替	500タイプ、キャビネット付	500タイプ、2in1 混合栓	LIXIL BC110PTU DT5800NBL
		湯水混合水栓		CF-18AJS CF-11B
	洗濯機用排水新設	洗濯排水金具50A	コンパクト型トラップ付	TOTO LDA506ADU LMA500B
	洗濯機用水栓新設	万能ホーム水栓	単水栓（緊急止水機構付き露出）	LIXIL FTV1N-503N/VP MPX-501S
台所	水栓取替	2ハンドル混合水栓	2ハンドル混合水栓	TOTO TW11RF
	ガス栓・コック取替	ヒューズコック2口・ガスコック	ヒューズコック2口・フレキガス栓	LIXIL LF-WJ50KQ-U
浴室	水栓取替	2ハンドル湯水混合シャワー	13-F18A	R2A-13
				TOTO TMS25C /LIXIL BP-K651
共通	給水管改修	SGP-VB20埋め殺し	SGP-PB20露出	住戸内保温外装：屋内露出仕様
	給湯管改修	断熱被覆銅管20埋め殺し	保温付被覆銅管20露出	不要な器具・水栓・バルブは撤去
	ガス管改修	SGP管20埋め殺し	SGP（白）20露出	
不用となった配管の接続口はプラグ止すること				

1～11号棟・14号棟平面詳細図（現状） S=1/30

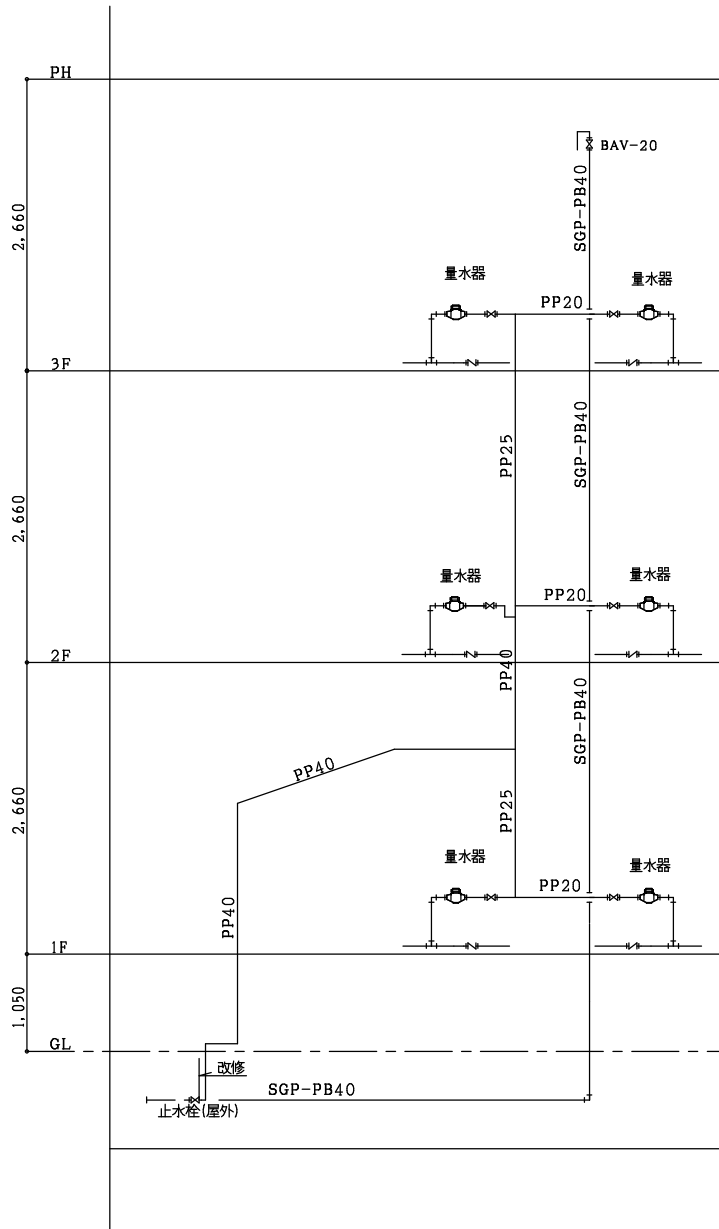
吉川設備設計事務所		県営住宅（城西団地）1号棟屋内配管その他設備改修工事		図面番号
設計責任者	建築設備士 吉川 武男	登録番号0100-3213KD	給水設備	平面詳細図（現状）
〒036-8095 青森県弘前市大字城東4丁目7の1	TEL0172-27-5771	縮尺	A1：1/20 A3：1/60	令和4年3月日製図⑥ 検図



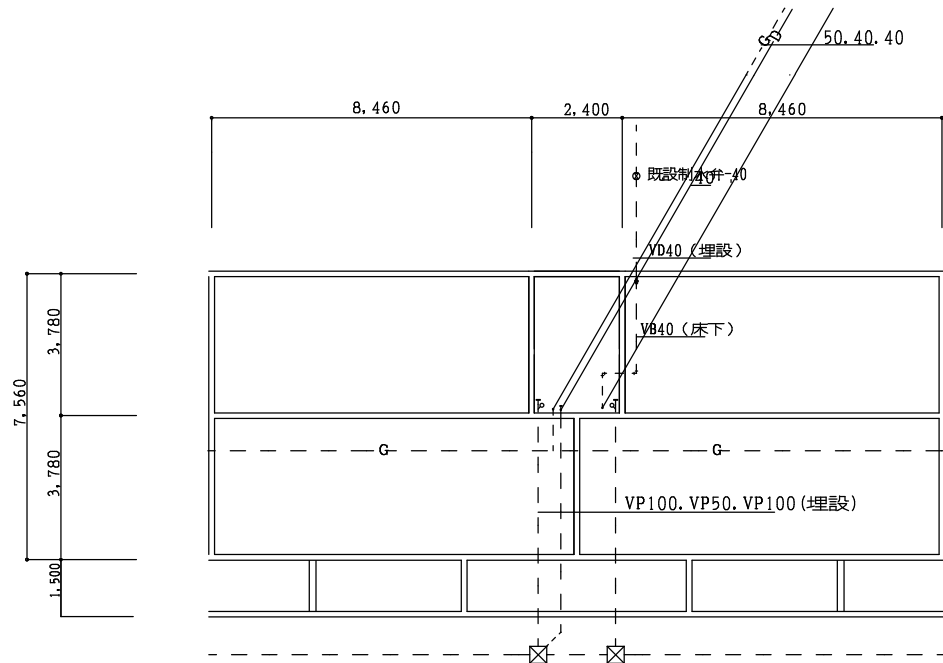
平面詳細図（改修後） S=1/30

PS上部平面詳細図 S=1/30

吉川設備設計事務所			泉宮住宅（城西団地）1号棟屋内配管その他設備改修工事			図面番号 M-8
設計責任者	建築設備士 吉川 武男	登録番号0100-3213KD	給 水 設 備	平面詳細図（改修後）		
〒036-8095 青森県弘前市大字城東4丁目7の1	TEL0172-27-5771		縮尺 A1 : 1/20 A3 : 1/60	令和4年3月 日	製図⑨	検図

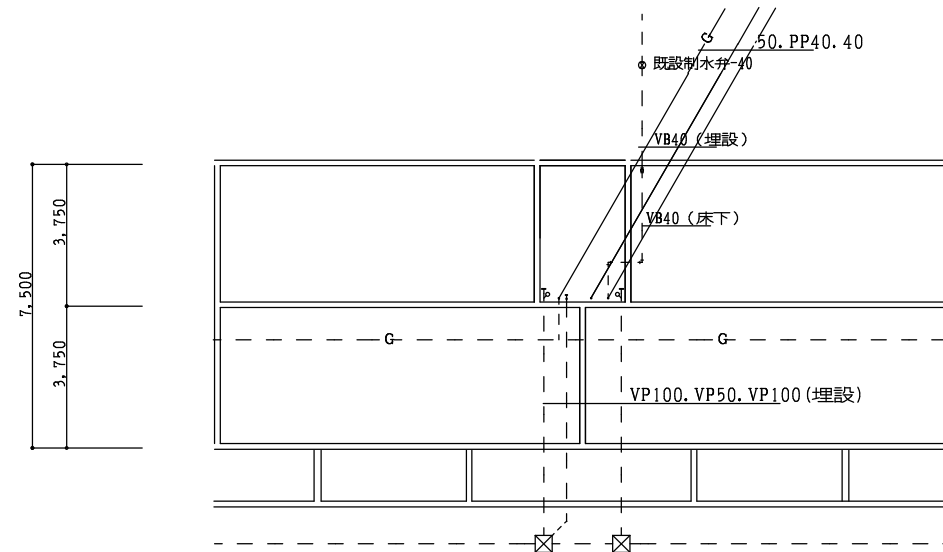


仮設管系統図 (各階段室共通)

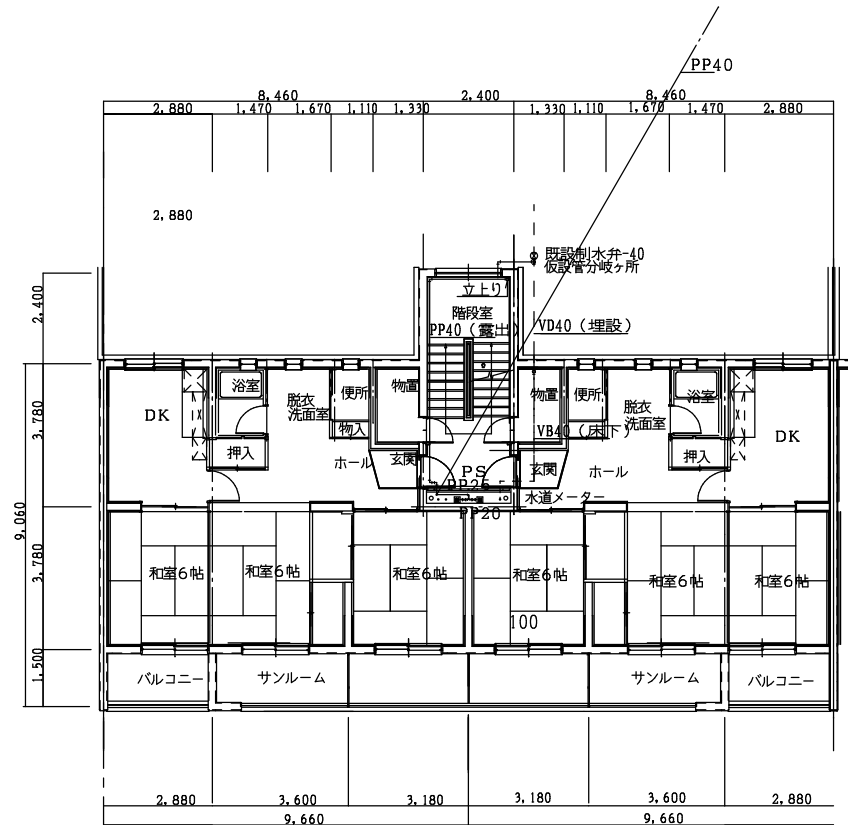


床下平面図 (各階段室共通) [改修前] 1/100

撤去部分



床下平面図 (各階段室共通) [改修後] 1/100



仮設給水図 (各階段室共通) 1/100

仮設給水工事概要
P S内及び住戸内給水管更新工事着手前に工事による断水時間を可能な限り短縮し、入居者に影響しないよう仮設給水工事を行う。
外部既設制水弁よりPP40にて仮設給水工事を行う。仮設立管はP S内とする。
PSへの分岐管はPP25、各戸既設水道メータへPP20にて接続し、給水供給確認ご既設管の更新を行う。
仮設使用管材は他の階段室に順次転用する。

吉川 設備設計事務所			県営住宅 (城西団地) 1号棟屋内配管その他設備改修工事		図面番号 M-9
設計責任者	建築設備士 吉川 武男	登録番号0100-3213X0	給 水 設 備	仮設給水図・床下平面図	
〒036-8095 青森県弘前市大字城東4丁目7の1	TEL0172-27-5771		縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	令和4年3月 日 製図	検図